NatureGame Networ 発行日:2012年3月15日(木) 発行:埼玉県 発行:埼玉県ネ 神内惠子

編集:埼玉県ネイチャーゲーム協会 事務局 F http://www7b.biglobe.ne.jp/~taasan28ng/



2011年度埼玉県協会の総会を下記のように開催いたします。地域の会との交流が き、さらに、まだ地域の会に所属されていない方にはよりどりみどり、6つの会の中 から選ぶこともできます。あったかい埼玉の味を知ったが最後、はまっていくのは間違 いない!

また、日本ネイチャーゲーム協会公認トレーナーの『おかぴー』こと岡田彰さんによ る『室内で実施できるアクティビティ』体験ももご用意しています。多数のご参加お待 ちしています。そして、講演後は恒例の懇親会も計画していますのでお楽しみに!

時:平成24年4月21日(土)13:00~16:30

総会:13:00~14:15 講演:14:30~16:30

所:浦和コミュニティセンター

浦和パルコ10階第14集会室 (JR浦和駅東口徒歩1分)

師:日本ネイチャーゲーム協会 岡田 彰トレーナ

参加費・申し込み:不要

埼玉のフォローアップセミナーと言ったら今までは『夏のイベント』でした。が、今年はひと味違います。今年に入ってリーダーの資格を取った方々も巻き込んで、集い、 学び、楽しむ場として、春に実施いたします。どしどしご参加ください。

5月19日(土) 13時~20日(日) 15時(1泊2日) 名栗げんきプラザ(埼玉県飯能市上名栗1289-2)

西武秩父線正丸駅下車(健脚コースです。車での乗り合いをお勧めします)

参加費 県内 9,000 円 県外 9,400 円

師 青山裕子トレーナー

埼玉県ネイチャーゲーム協会 主 催

申込先 狭山市ネイチャーゲームの会 小野木(おのぎ)

連絡先 電話・ファクス 042-421-0439

メール onogi-kazue@jcom.home.ne.jp



と称してお漬け物を食べる習慣のあった東北地区。 そして、 ゲームの仲間が集う全国研では全国の銘菓が勢揃いするスゴイ光景。このふたつが繋がって東北被災地支援の「お茶っこ広場」が生まれたと聞いています。慣れない仮設住宅で不安を抱えながら生活されている被災者の皆さんに全国の銘菓とお茶をお届け ほんのひとときでもほっとできる時間をご提供できないか、という思いで日本 協会が主催している活動です。埼玉県からも埼玉のお菓子を2度お届けしました。改 めて埼玉県内の会員のみなさまにご報告させて頂きます。今後も埼玉県協会として協 力していきますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

# 地域ネイチャーゲームの会からのご案内 ~2012年6月までのもの

うらわネイチャーゲームの会

4月22日(日) 13:00~15:00『お花大好き!~虫の気持ちになってみよう~』 6月17日(日) 13:00~15:00『大好き!雨の日!~水の星に生まれて~』

いずれも 場 所 川口市立グリーンセンター (入園料あり) 林間教室 詳しくはうらわの会のHPをご覧ください。 http://www.geocities.jp/urawangjp/



# 鶴ヶ島ネイチャーゲームの会

3月24日(土) 10:00~12:30『自然をよく観察し、自然のなかで遊ぶ楽しさを感じよう』 鶴ヶ島市 池尻池にて

☆申し込み・問い合わせ先→電話・FAX 049-285-5089 (平林)

ところざわネイチャーゲームの会

5月26日(土)・27日(日) こども夢基金ところざわ春の会「磯遊び」 三浦ふれあいの村



今回は「サンタさん」こと平林さんから木肌で見極めるコナラとクヌギの違いを伝授して頂きまし た。さあ、外に出て、実践です。

樹木の肌は種類により、樹皮がそれぞれ違います。冬の植物で樹木の状態を観察するとき、よく 目に付くのが冬芽ですが、木肌に注意して、違いを見分ける達人を目指してみましょう。

・木肌に、山・谷・平地があるのが → コナラ。

・木肌に、平地がないのが (厚くてデコボコしている) → クヌギ。

さあ、森に出かけて確かめて見よう。森に出かける前に、山""谷""平地"ってどのようなこと なのか、クヌギとコナラの樹皮を図鑑のなどの「写真」

で確認してから出かけよう。

私も見分ける確実な自信は余りありませんが、慣れてく ると樹皮だけでも簡単に見分けがつくようになります。 葉を見れば一目瞭然ですので、誰でも見分けがつきます。 クヌギの葉の方が、細長いです。

(鶴ヶ島ネイチャーゲームの会:平林功)

写真:左側:クヌギ 右側:コナラ





あれから一年が経ちました。一人でできることなんて本当に小さいことだけど、でも、できることをやっていきたいと思います。お茶っこ広場の活動もその一つとしてお手伝いできたらなと思っ ています。ご理解とご協力をお願いします。以下は気仙沼市の階上(はしかみ)中学校、被災直後

の卒業式に読まれた答辞から抜粋したものです。(全文をお届けできず申し訳ありません。) 『~でも、時は確実に流れていきます。生かされた者として顔を上げ、常に思いやりの心を持ち 強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには、大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これ からの私たちの使命です。~』

自然と共存することの厳しさを本当に感じます。でも、それでも、自然と共存する豊かさも知っ ている私たちは、やはり前を向いて自然と向き合わないといけない、と思うのです。ちっぽけな私 たちに何かできることを見つけるために、自然がくれる日々のドキドキ、ワクワクをきちんと受け 止めて生きていきたいと今日も思います。(S)